

式 辞

令和5年 春のこの佳き日に、御来賓として、学校評議員 大和田公民館館長 三上文子様、PTA会長 坂本陽子様に御臨席を賜り、ここに埼玉県立新座柳瀬高等学校 第16回 入学式を挙行できますことは、この上ない喜びであります。

ただ今、入学を許可いたしました、18回生198名の皆さん、そして保護者の皆様、本校への入学、誠におめでとうございます。教職員一同、心から歓迎いたします。

晴れの入学にあたり、私から高校3年間における大切な3つの心構えについてお話したいと思います。

それは、明治時代から平成初期にかけて活躍した教育学者の森信三（もり のぶぞう）さんの「時を守り、場を清め、礼を正す」という言葉です。

もう一度、申し上げます。「時を守り、場を清め、礼を正す」

これまでにどこかで聞いたことがあるかもしれませんね。これは人として大切にしたい基本であり、心に刻むべき言葉だと思っています。

「時を守り」とは、時間を守ること、これは人から信用を得るための第一歩だと思います。毎日の積み重ねを大切にしていきたいと思っています。

2つ目の「場を清め」は、整理整頓をすることです。日本の学校では、小学校から高校まで「清掃活動」に取り組んでいます。スポーツの国際大会の際、日本選手がロッカールームをきれいにしたり、応援団が会場をきれいにして帰る様子が報道されたりしますが、これは学校生活で養われた習慣であり、世界に誇れる日本の素晴らしい文化ではないかと思っています。

散らかっているところでは集中することはできません。自分の部屋や教室、部活動の活動場所など、まずは身の周りをきれいにすることから始めていきたいと思っています。

最後の「礼を正す」について、これは良好な人間関係をつくるうえで最も大切なことだと思います。自ら進んで挨拶ができる、挨拶をされたら好き嫌いに関係なく必ず返事ができる、いけないことをしてしまったら素直に「すみません」と言える人になっていきたいと思っています。

「時を守り、場を清め、礼を正す」、当たり前のことかもしれませんが、これを大切に、3年間を通じて皆さんが立派な人間に成長し、本校を巣立っていくことを願っております。

保護者の皆様、本日は誠におめでとうございます。真新しい制服に身を包み、高校生としての第一歩を踏み出した我が子をご覧になり、感慨もひとしおのことと存じます。

高校時代は、お子様が高度な知識や技能を身に付けるとともに、主体的に考え行動しながら様々な課題に取り組み、解決へと導く力を養っていく時期です。高校3年次には多くの生徒が成人となりますが、高校時代はまさに大人になるための極めて重要な時期であります。

地域の方々に見守られ、学校と家庭がしっかりと手を携え、生徒の成長を支えていくことができますよう、本校の教育方針に御理解をいただき、御協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

結びに、新入生の皆さんにとって新座柳瀬高校での3年間は、輝かしいものになりますことを祈念し、式辞といたします。

令和5年4月10日

埼玉県立新座柳瀬高等学校 校長 伊藤 孝人